

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土博物館運営管理				整理番号	836		枝番号					
担当部課		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	859			
係名				上位施策名				No						
予算事業名				郷土博物館運営管理				コード	82340		文化・芸術活動の基盤整備			
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		元	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 博物館法								
一般区民						(2) 杉並区郷土博物館条例								
一般区民						(3) 杉並区郷土博物館条例規則								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
郷土資料の整理、保管作業を進める。 購入や寄贈の受入により、郷土に関する保有資料の充実を図る。 郷土に関する研究を進め、成果を一般に報告する。 生涯学習への支援、周知、普及に関する活動(学校利用の受入、 展示解説や質問、相談への対応)				歴史的文化的遺産の収集、保存、研究活動により、郷土の文化を守り育てる。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 購入資料数				(1) 資料所蔵総数										
(2) 作成報告書数(年報、館報)				(2) (代) 報告書作成冊数										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
							計画		実績					
指標	活動指標(1)		点	1,470		544		500		785		500		
	活動指標(2)		点	3		3		3		3		3		
	成果指標(1)		点	120,141		120,685		121,185		121,470		121,970		
	成果指標(2)		部	8,800		8,800		8,800		8,800		8,800		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,149		3,297		5,024		5,018		5,020	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.50	2.00	1.61	2.00	1.25	1.60	1.34	1.00	1.25		1.40
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	13,625		14,480		11,375		12,194			11,375
		非常勤職員分		千円	5,870		5,518		4,608		2,880			4,032
	総事業費 + +		千円	23,644		23,295		21,007		20,092		20,427		
	単位あたりコスト ÷		円	16,084		42,822		42,014		25,595		40,854		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	23,644		23,295		21,007		20,092		20,427			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		157.0		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0		16年度予算執行率%	99.9		
			予算の範囲内で有効な運営管理が実施された。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開催展示内容に沿った資料が多く寄贈され、一般の寄贈と購入資料を合わせて年々資料の充実が図られている。館報として炉辺閑話を年2回、年報紀要を年1回発行している。中学生の職業体験、教職員の研修等、学校利用が増加している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特に寄せられていない。
	今後の予測	今後も資料の収集をすすめ、あわせて研究と適切な保存をはかっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:郷土に関する資料の収集、研究は、区民が地域の文化を考えるきっかけとなる。また、地域の歴史や文化を学ぶ身近な施設として、区内小中学校の社会科見学を中心に利用されている。新任教諭や博物館実習生なども積極的に受入れ、博物館へのより深い理解協力を教育関係者に求める働きもしている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:学校との連携をより深めることにより、よりスムーズで細やかな学習支援が可能となる。 理由または具体的内容:上記記載済
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:地域博物館設立の趣旨からすれば、学校の授業での利用等を無料としているのは当然である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:印刷費、臨時雇用人員などは必要最低限の水準でありこれ以上の削減は見込めない。事業内容の充実を図るならばむしろ増加の可能性もある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由:私的嗜好や流行に左右されることなく、歴史的文化的価値の高い資料を適切に収集、保存していくためには、行政自ら責任をもって実施すべきである。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 学校、指導室等と連絡を密にとり、教育支援システムを構築していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各学校間で博物館に対する対応にも違いがある。教員研修の積極的受入れ、指導室との協議を進める。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 同様同規模の事業を継続

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土博物館維持管理				整理番号	837		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	860	
係名						上位施策名		No				
予算事業名		郷土博物館維持管理		コード	82900		文化・芸術活動の基盤整備		66			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		元	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 博物館法 (2) 杉並区郷土博物館条例 (3) 杉並区郷土博物館条例規則					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		一般区民		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		本館、松ノ木遺跡、西田小展示室、館外収蔵庫5箇所の維持管理				利用者へ安全で快適な施設環境を提供する。文化遺産を適切な状態で保存・活用し、郷土の文化を守り育てる。区民の郷土意識を高め、歴史文化認識を深める。					
	活動指標名(式)		(1) 開館日数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 入館者数 (2) アンケート結果(満足を1、普通を0、不満を-1とした平均点)			
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		日	291	295	290	293	293				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	13,145	14,027	13,000	12,891	13,000				
	成果指標(2)		点	0.500	0.507	0.600	0.658	0.660				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,859	26,956	28,528	26,945	30,249	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	10,812	18,303	18,514	17,363	18,126				
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.20   0.00	1.29   0.00	1.00   0.00	1.07   0.00	1.00   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,900	11,602	9,100	9,737	9,100				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	31,759	38,558	37,628	36,682	39,349				
	単位あたりコスト ÷		円	109,137	130,705	129,752	125,195	134,297				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	31,759	38,558	37,628	36,682	39,349					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	101.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	94.5	節電など経費の削減を図っているが施設全体に老朽化が進み、また、高木剪定の必要な時期を迎え修繕等の費用が高んだ。予算の範囲内で適切な維持管理が行われた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	館外収蔵庫は区内小学校あき教室を5箇所利用。資料保存には不向きな劣悪環境。校舎立替などによりたびたび移動をせまられている。(平成11年、14年、16年、17年) 館用地は平成13年度より無償貸借されている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	予算が削減される中、植栽の手入れを全て行うことは難しいが、住宅街に位置していることもあり、敷地境界の手入れなどについては要望が時折寄せられる。
	今後の予測	開館より16年が経過し、施設全体に老朽化が見られる。常設展示室については大掛かりな手直しの必要な時期にきている。古民家、長屋門については文化財でもあるため、維持管理には専門家からのアドバイスを受ける必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 館の存在は文化・芸術活動の基盤整備そのものである。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 資料保存先として館内収蔵庫のみでは手狭であるため、環境劣悪と知りながら他の方法がなく区内小学校あき教室5箇所を利用している。資料の劣化はもちろんのこと、たびたびの移転で整理、調査、活用に手が回らない状態である。 理由または具体的内容: 大型収蔵庫の建設が必要不可欠
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 公立博物館は無料が原則であるが財政的な問題と受益者負担の考え方から開館時より観覧料を徴収している。平成12年より中学生以下は50円より無料とした。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 建物の老朽化にともない修繕費が嵩むのはやむをえない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由: 維持管理業務の多くを委託している。 理由または具体的内容: 植栽維持管理、消防設備保守点検、機会警備、電気工作物保守点検、展示室模型清掃、昇降機設備保守点検、自動ドア保守点検、印刷機保守点検、電話設備保守点検、収蔵庫燻蒸、清掃業務、古民家維持作業、機械設備保守点検等
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 集合契約によるコスト削減を図っているが、博物館という建物の特性から厳密に適正な環境維持を保てるように契約時の仕様作成や履行確認などに細心の注意が必要である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 経年劣化は避けられず、年々大型の修繕が必要となると見込まれる。また、館外収蔵庫については移転のたびに多額の費用がかかる上、資料保存に適した環境でないことは何度も述べているとおりである。恒常的に貴重な資料の管理、保存を行える収蔵庫を設ける必要である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 収蔵庫建設には多額の財政負担が必要。自然空調を取り入れる、学校校舎立替にあわせての建設を計画するなどの方法が考えられる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	館のみならず、付属施設も含めて管理・修繕の計画を立てる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運営協議会				整理番号	838		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	861				
係名						上位施策名		No							
予算事業名		郷土博物館運営管理		コード	82340		文化・芸術活動の基盤整備		66						
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		元	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 博物館法 (2) 杉並区郷土博物館条例 (3) 運営協議会規則										
	運営協議会委員11名		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
学識経験者等11名の委員からなる運営協議会を開催し、郷土博物館の運営に関する事項等を審議する。		学識者の立場から、博物館活動の充実を図るための提言を館長に対し行う。													
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) 会議開催数		(1) 提言件数													
(2)		(2)													
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		日	4		4		4		4		4	100.0		
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		件	11		11		11		11		11	100.0		
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	440		428		498		468		498		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.00	0.30	0.00	0.25	0.00	0.27	0.00	0.25	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,725		2,698		2,275		2,457		2,275		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	3,165		3,126		2,773		2,925		2,773			
	単位あたりコスト ÷		円	791,250		781,500		693,250		731,250		693,250			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	3,165		3,126		2,773		2,925		2,773				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		94.0			
		委員は11名、開催予定数は4だが、各回欠席者があるため上記執行率となっている。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)															

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成元年の開館と同時に運営協議会を設置。委員数は平成元年12名、平成8年より11名。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特に寄せられていない。
	今後の予測	今後も年4回程度の開催を予定。館運営に関し、有益な提言が期待される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:間接的ながらも提言をとおして文化芸術活動の基盤整備に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:限られた開催回数の中でより有益な提言をまとめていただくために、テーマを絞るなど各回工夫が必要である。 理由または具体的内容:上記記載済
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:委員会の存在は館運営には有益であるが、受益者は入館者のみとは言えず、観覧料などに反映させることは適当でない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:報酬額単価はここ10年ほど増減なく、通信費などの必要経費も最低限に抑えられている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	理由:館外学識者に委員を依頼している。 理由または具体的内容:委員は学識経験者であり、識者の立場から郷土博物館への提言をいただいている。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み これまで同様、識者の視点・立場から郷土博物館のあるべき姿について提言いただく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	